

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

福岡県信用農業協同組合連合会（以下「当会」という。）は、農業と地域に根ざした金融機関として、県下JAとともに福岡県農業の振興と豊かな地域社会づくりに貢献することを経営理念に掲げています。

当会では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

福岡県信用農業協同組合連合会

※上記に掲げる取組みは、2024年9月改訂の金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、お客さまの安定的な資産形成に貢献するため実施しております。

なお、現状、取扱実績が少ないため、公表するKPI実績値が大きく変動する場合があります。

I .取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3、6、7)補充原則1~5本文および(注)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく社会情勢や手数料の水準等も踏まえ、お客さまの多様なニーズにお応えするとともに、お客さまの属性、適合性を判断したうえで最適な商品のご提案を行います。
- 利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組みとして、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を行います。なお、当会は、金融商品の組成に携わっておりません。
- 商品選定を行う際は、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを確認し、第三者の専門機関の意見も参考にしています。そのうえで、お客さまのニーズに合った商品を取り入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末： 1)	4 (前年度末： 4)
株式型	3 (前年度末： 3)	5 (前年度末： 5)
REIT型	1 (前年度末： 1)	2 (前年度末： 2)
バランス型	7 (前年度末： 7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

最適な金融商品の提供を行うため、以下の主な基準により商品の選定を行っています。※

- 将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること
- 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 過去の運用成績の再現性が認められること
- 手数料が良心的な水準であること
- これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

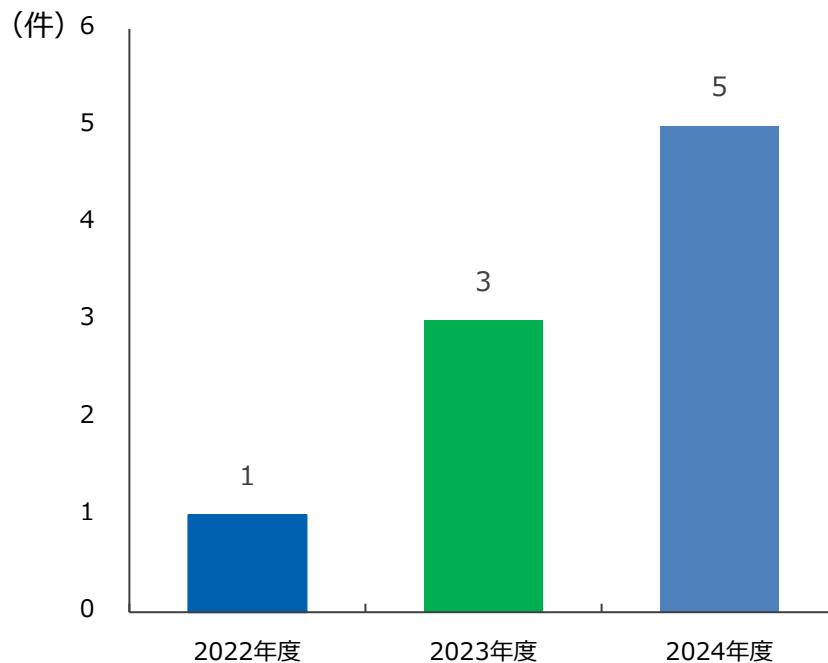
※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousintaku/select/>

I .取組状況

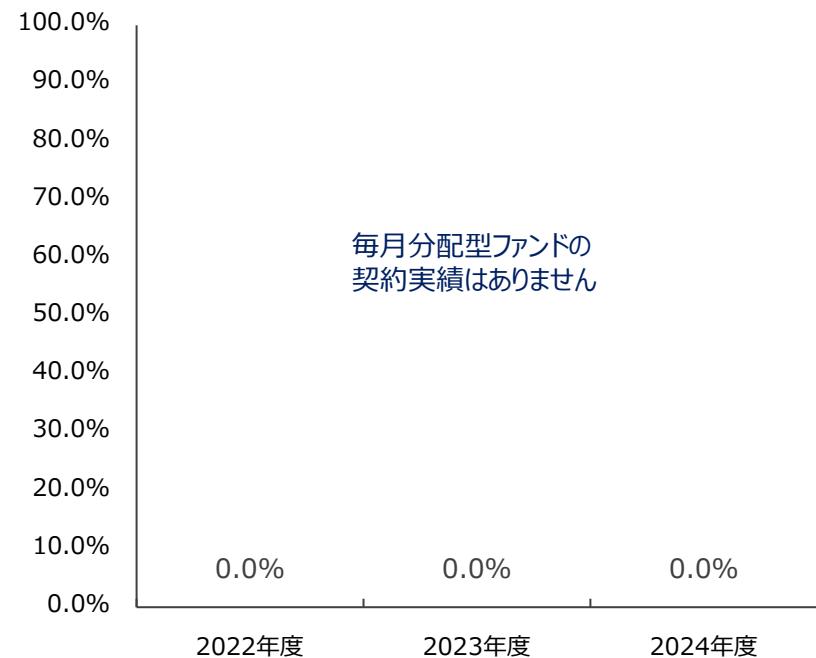
2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および（注）、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識および経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I .取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供② 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ、JAバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害するがないように、「利益相反管理方針」等に基づき、利益相反のおそれのある取引の類型および特定方法、管理に関する事項などを定め、適切に管理しております。

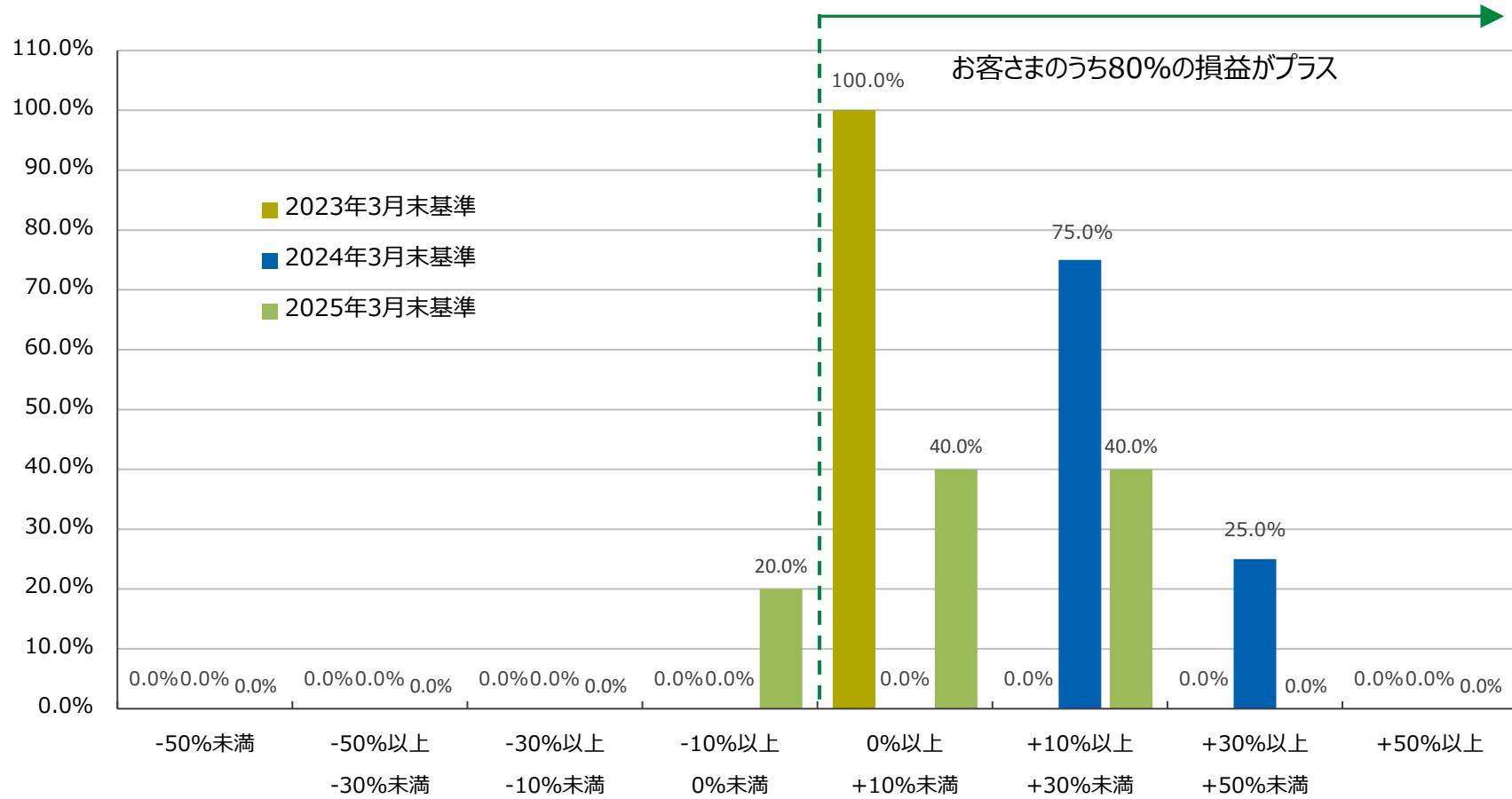
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および（注）、原則6（注5）】 【原則7本文および（注）】

- 研修による指導や資格取得の推進を通じて、高度な専門性を有し誠実かつ公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

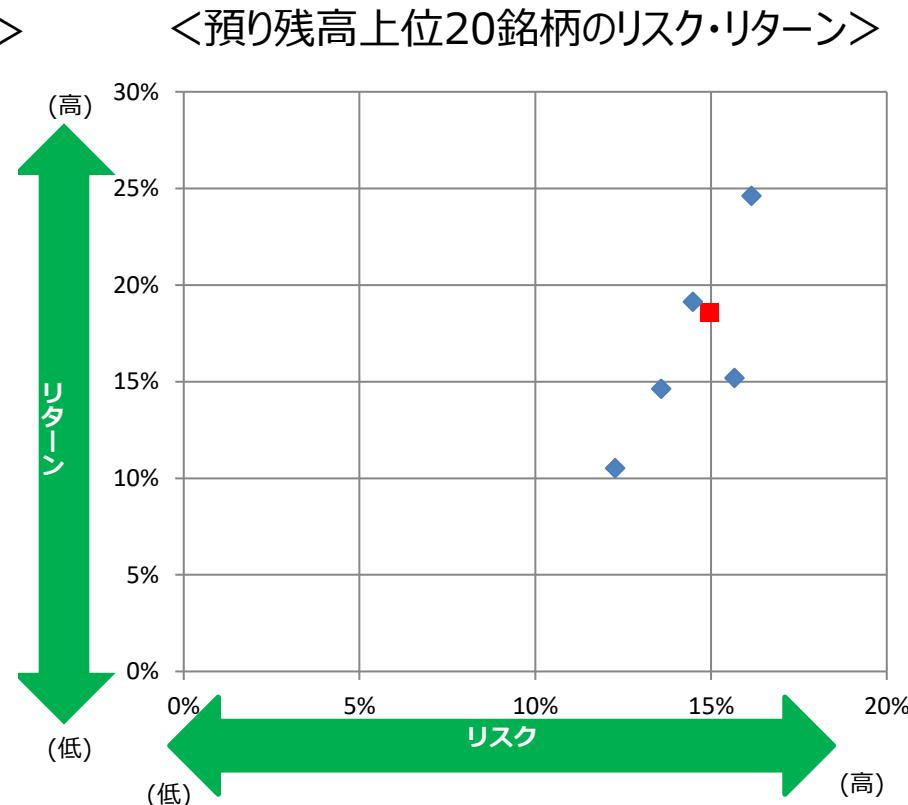
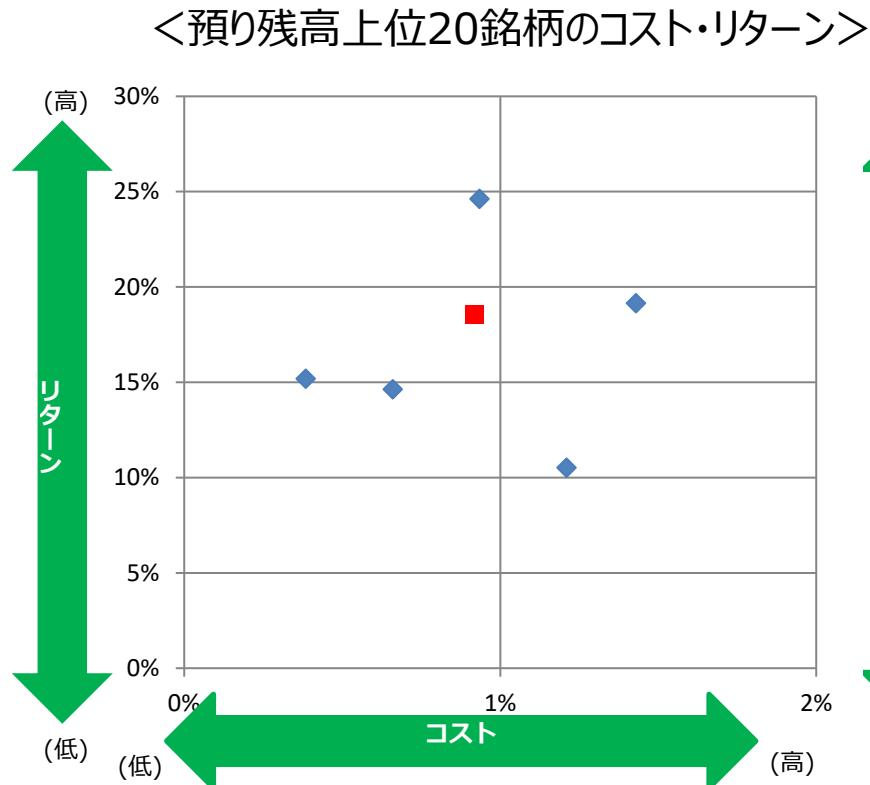
- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では80%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.92%、平均リスク14.97%に対して、平均リターンは18.56%でした。



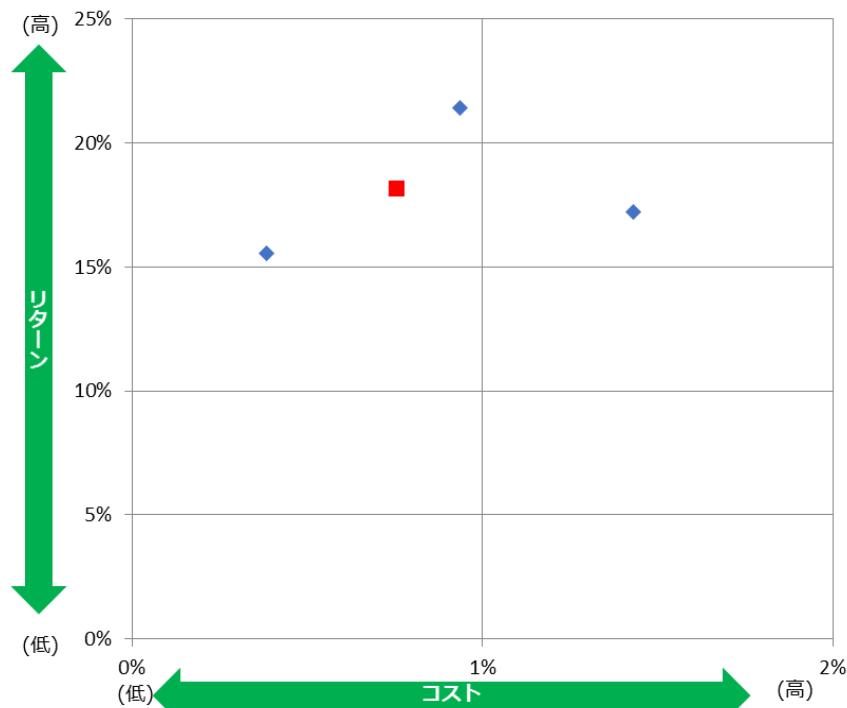
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、9ページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ. 比較可能な共通 KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

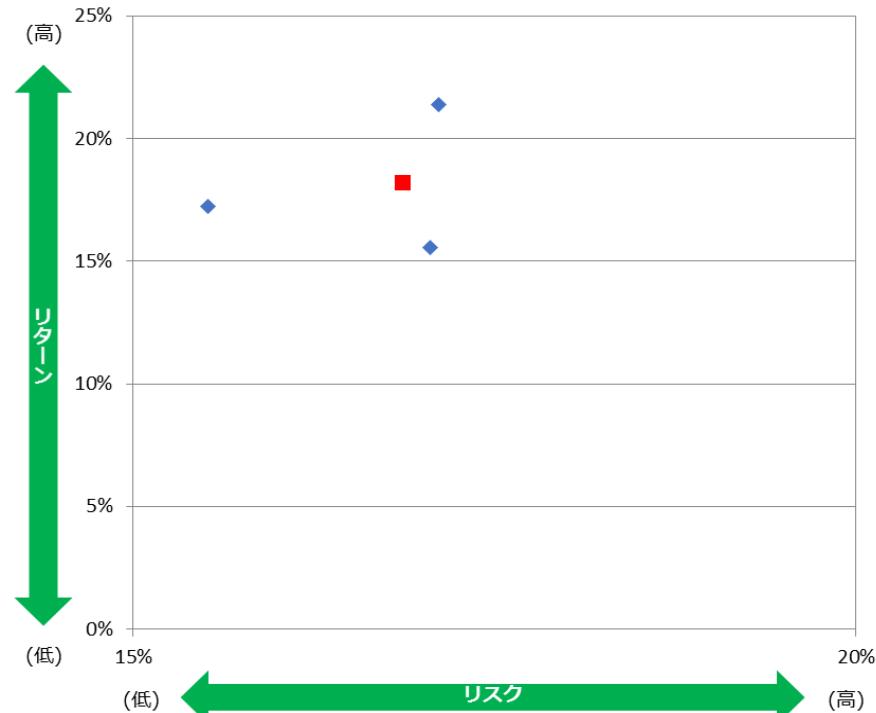
- 2024年3月末時点の預かり残高上位20銘柄の平均コスト0.76%、平均リスク16.86%に対して、平均リターンは18.18%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、10ページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

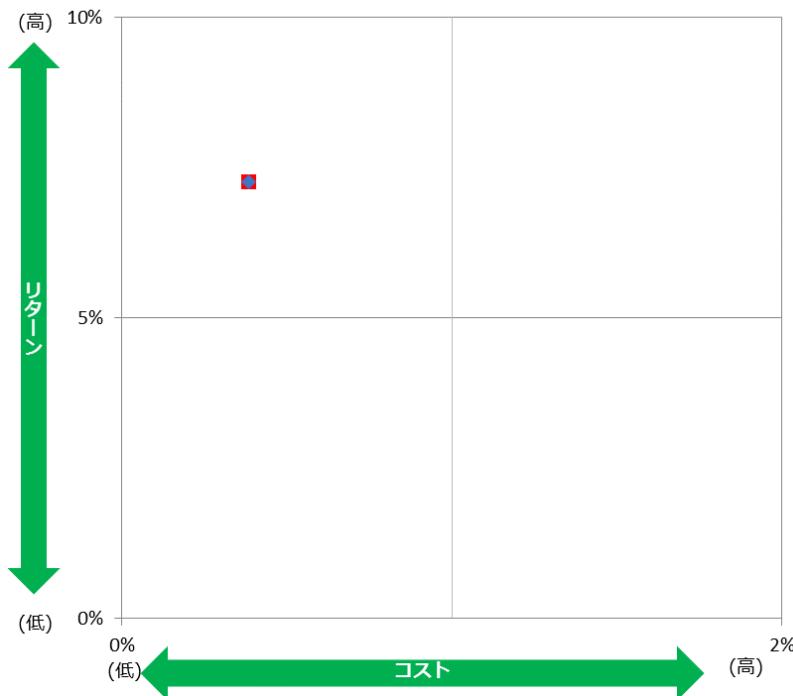


Ⅱ.比較可能な共通KPI

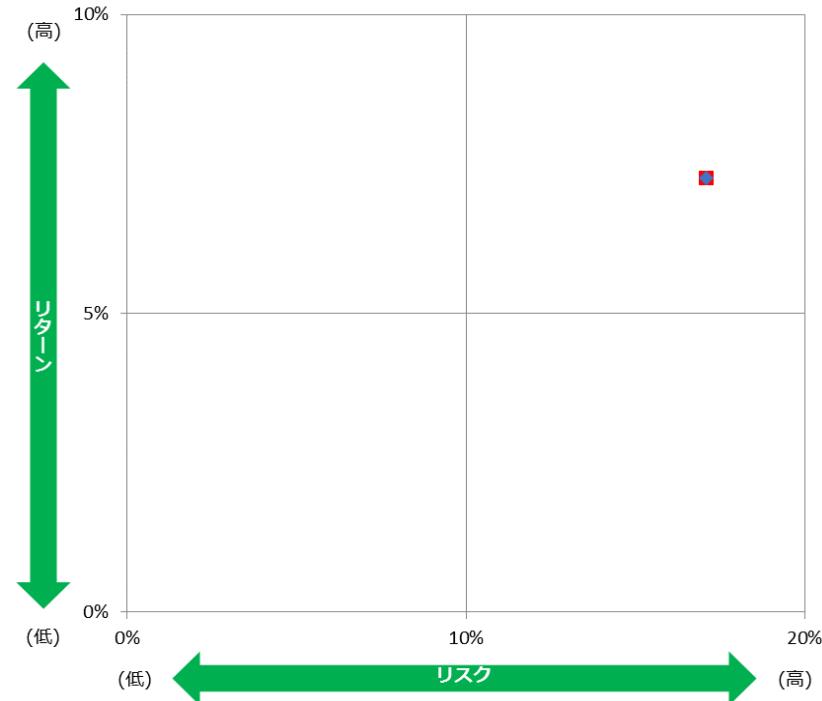
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預かり残高上位20銘柄の平均コスト0.39%、平均リスク17.10%に対して、平均リターンは7.26%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、11ページに記載しております。

※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
4	おおぶねJAPAN（日本選抜）	農林中金バリューアインベストメンツ（株）	10.52%	12.27%	1.21%
5	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューアインベストメンツ（株）	14.63%	13.58%	0.66%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		18.56%	14.97%	0.92%

※ 2025年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		18.18%	16.86%	0.76%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		7.26%	17.10%	0.39%

※ 2023年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は1本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。